北海道室蘭聾学校
室蘭市水元町５６－２４
TEL.（0143-44-1221）
FAX（0143-44-1208）
メール　muroranrou-z0@hokkaido-c.ed.jp　ホームページ http://www.muroranrou.hokkaido-c.ed.jp

学校だより

令和5年度
第5号
令和6年
（2024年）
1月19日発行

今の日常を精一杯楽しんで生きる

北海道室蘭聾学校長　二階堂　洋子

始業式の話の最初に「冬休みは楽しかったですか？ いろいろなニュースなどもありましたが、皆さんは元気でしたか？」と聞くと、ほとんどの子供が「楽しかったー！」「元気です！」と笑顔いっぱいに応えてくれました。そんな中「元気じゃなかった」とつぶやいたり、うつむいて反応しなかったりしていた数人の子供の様子が見えました。子供たちなりに思うことがあったり、様々な状況があったりしたのだろうと感じました。

新年早々、能登半島を中心とする大きな地震、そして救援機の事故、非常に沈痛な思いです。

1995 年 1 月の阪神淡路大震災があった時には、私は初任校で中学 3 年生の担任をしていました。当時の学級通信に「同じ中学 3 年生でも、寒い避難所の中や家族から離れて親戚の家で受験勉強をしている人たちがいる。皆は温かいご飯を食べられて、暖かい家で家族に見守られながら受験勉強ができる。感謝しながら頑張ろうね！」というようなことを書いていました。人と比べた視点で励ましていることが未熟だったと今は思います。

それから私は東日本大震災や胆振東部地震、豪雨災害等の被災地でボランティア活動をしたり、その土地の方々と交流を続けたりしています。当時、現地でよく言われていたことは、「自分はまだ前を向けないけれど、あなたたちまで暗くならないで。」「今の日常を精一杯楽しんで生きて。」ということです。

「被災地以外の人たちは、現地への救援、支援と同じくらい、自分たちの機能している日常を維持していくことで、被災者の人たちを現実的にも心理的にもサポートすることができる。」という話を聞いたこともあります。今、生かされていることに感謝し、家族や仲間を大切にして、かけがえのない日常を楽しんでいくことが大切だと思っています。そして、今できることにしっかりと取り組んでいきたいと考えています。本校においても、平時の備えや災害発生時の幼児児童生徒の安全確保について改めて確認して参りたいと思います。

皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月～3月の主な予定

1月
- 17(水) 岩崎電子来校
- 18(木) さくら補聴器来校
- 19(金) 誕生会(幼)
- 31(水) 児童生徒総会

2月
- 2日(金) まめまき(幼)
- 7日(水) 全校朝会
- 9日(金) 後期期末テスト(中)
- 13日(火) 三者懇談(～3/1)
- 14日(水) 岩崎電子来校
- 15日(木) さくら補聴器来校
- 16日(金) 一日入学・入学説明会
- 22日(木) 金曜日課

3月
- 1日(金) ひなまつり(幼)
- 6日(水) 全校朝会
- 8日(金) 閉級式(乳)
  卒業生を送る会(小)
- 13日(水) 卒業式総練習
- 14日(木) 送別会(中)
- 15日(金) おわかれ会(幼)
- 22日(金) 卒業式 修了式 離任式

冬休みの作品展

１月 15 日（月）から１月 26 日(金)まで、冬休みの作品展を開催しています。体育館前の廊下には、子供たちの個性あふれる作品が並びました。１月 17 日までに出品された作品の写真を掲載しましたので、ご覧ください。

「こま」(幼)

「スノードーム」(幼)

「ほうこうざい」(幼)

「大ピンチおみくじ」(幼)

「立体アイロンビーズ」(小低)

「トカゲとクロミちゃんのマスコット」(小低)

「マリオの 10 円で遊ぶゲーム 」(幼)

「首かざり」(小低)

「ドラム」(小高)

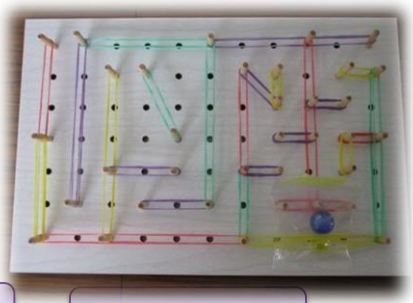
「エゾタヌキとホンドタヌキのずかん」(小高)

「アニマルランタン」(小高)

「辰」(中)

「北海道の桜について」(中)

「スーパーアースのホンの絵」(中)



「めいろ」(中)

「レッドイーグルスのはりえ」(中)

学校だより第６号は、３月 22 日発行の予定です。